

## 編集後記

昨秋の10月15日、恒例の児童文化研究大会が盛大に開かれました。講演には児童文学者の松谷みよ子先生をお招きし、「いま、何を語り伝えるか」の演題で、お話していただきました。多くの方々が会場を訪れ、学生とともに熱心に聴講しました。大会後の学生のレポートには、それぞれの成長過程での先生の童話、民話、著書との出会いや、講演への感動が記されていました。また分科会の研究発表は、附属幼稚園、大屋幼稚園の先生方と北御牧V Y S たけの子の会の野村伸弥さんにしていただきました。11回を数える研究大会ですが、少しずつ地域への根づきを深めているように思われます。関心を同じくする保育者、保健婦、教師、公民館・図書館・児童館へ勤務する人々、子育て中のお母さん方、児童文化に関心を向けていらっしゃる市民の方々が集まり、講演を聴き、研究発表の討議にも参加してくださいました。

所報第11号は、この大会の講演要旨と、研究発表、助言者の先生方の論稿を収録しました。また論文編には、上原貴夫先生の現代的な問題をテーマとした玉稿を掲載することができました。

今後とも、本短大児童文化研究所や、その研究大会、研究所報へのご理解とご支援を、読者の皆様をお願い申し上げます。

編集委員 天 田 邦 子

児童文化研究所所報 第11号

1989年3月28日印刷

1989年3月31日発行

編集委員 竹 内 要 天 田 邦 子

発行人 上田女子短期大学児童文化研究所長  
西 尾 光 一

発行所 上田女子短期大学児童文化研究所  
上 田 市 大 字 下 之 郷  
TEL 0 2 6 8—3 8—2 3 5 2(代)

印刷所 田 辺 印 刷 株 式 会 社  
上 田 市 問 屋 町 2 3 7 — 5  
TEL 0 2 6 8—2 2—1 4 9 2(代)